



赤西小だより

＜北区教育委員会指定 コミュニティ・スクール赤西＞
東京都北区立赤羽台西小学校 校長 村松 良臣
令和8年1月8日発行

令和7年度 1月号



赤西小のHPは、
←こちらの
2次元コードから
アクセスください。

新校舎開設の延期に際して

校長 村松 良臣

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

昨年12月9日に、保護者の皆様に北区教育委員会及び北区の担当所管課から「赤羽台西小学校新校舎開設時期の変更について」のお知らせが配付されました。今回の延期の通知には、学校運営協議会の委員、PTA本部から心配の声をいただきしております。また、先月実施した学校評価に資する教育活動アンケートにも、校庭が使用できない期間がさらに長くなることから、体力向上について多くの意見が寄せられています。学校といたしましても、様々に懸念されることを踏まえ、教育委員会に対してこれまでに類に例をみない支援を行うよう求めております。

校庭が使用できることに関しては、今後、以下の対応を検討・実施していきます。

① 一部残っている校庭（三角校庭）以外に、学校敷地内に新たな運動スペースを確保します。

PTAグループチャットに参加されている皆様には、昨年末にお知らせされておりますが、詳細については今月中旬ごろに、北区教育委員会の担当部署からお知らせがある予定です。

② 現在、月2回試行している拡大中休みを、令和8年度は週1回に拡充する方向で検討しています。

学校として自己評価し、次年度の教育課程を編成中です。昨年10月からの試行の課題を整理し、持続可能な実施方法を検討していきます。

③ 年間を通じた体力向上の取組を計画します。

体育の年間指導計画だけではなく、運動できる場所を活用した体力向上の取組を「(仮称) 西の子体力向上推進プラン」として計画し、実践していきます。

今月21日には、昨年度から始めた持久走記録会を実施します。本校の体力向上の取組にご理解・ご協力、また声援いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

●1月の行事予定●

校庭開放…西が丘小 毎週日曜日 13:30~15:30

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	木	元旦	17	土	
2	金		18	日	
3	土		19	月	発育測定・保健指導(4年) 委員会活動
4	日		20	火	体育朝会中学年 発育測定・保健指導(6年) 補習タイム
5	月	学校閉庁日	21	水	児童朝会 持久走記録会 学力フォローアップ教室
6	火	学校閉庁日	22	木	
7	水	冬季休業日終	23	金	持久走記録会予備日
8	木	1、2年生3時間授業 3年生以上4時間授業 安全指導日 給食なし	24	土	
9	金	4時間授業 給食始 飛鳥山博物館見学(3年) 席書会(6年、1、2年は9~15日に実施)	25	日	
10	土		26	月	クラブ活動(3年見学) 校内書き初め展始
11	日		27	火	
12	月	成人の日	28	水	4時間授業 学力フォローアップ教室
13	火	発育測定・保健指導(1年) 拡大中休み	29	木	拡大中休み 5時間授業(2年)
14	水	4時間授業 体育朝会低学年 発育測定・保健指導(2年) 席書会(3・5年) 学力フォローアップ教室	30	金	1、2年4時間授業 3年生以上6時間授業 新1年生保護者説明会 校内書き初め展終
15	木	発育測定・保健指導(3年) 席書会(4年) なかよし班活動 5時間授業(2年)	31	土	
16	金	体育朝会高学年 連合展覧会鑑賞(4年) 発育測定・保健指導(5年)	※ 今月の避難訓練は、予告なしで行います。		

第3回学校運営協議会 報告

令和7年11月29日(土)午後1時から午後2時30分まで、本校多目的室において第3回学校運営協議会が行われました。当日は、学校運営協議会委員18名が出席、教育委員会事務局からは倉林巧教育振興部長、水浦茂樹教育指導課長、本校担当指導主事が参加されました。議事は以下のとおりです。

1 委員長、教育振興部長、校長挨拶

2 新委員任命 委員が新たに委員として任命されました。

3 本校の教育活動について

校長より11月までの子どもたちの様子、インフルエンザの罹患状況、拡大中休みの様子を報告しました。また、主幹教諭から年度末までの教育活動について説明しました。

4 令和7年度 学校評価について

校長より学校評価の考え方、実施方法、保護者、地域、児童を対象に学校評価を実施するための教育活動アンケートの項目内容について説明しました。アンケートの項目内容について質疑応答が行われました。

5 「熟議」をやってみましょう

今回は、校長がファシリテーターとなり、「こんな赤西小の子どもたちに育ってほしい」をテーマに、「熟議」を体験しました。

①前回も行ったように「熟議」の初めは、参加者がテーマに対してどう考えているか自分の意見をもつことから始まります。まずは「こんな赤西小の子どもたちに育ってほしい」ことを付箋に書き出します。

②グループごとに書いた付箋を紹介し合い、互いの考えを知るとともに、付箋を動かしながら、共通項を見いだしたり、短い言葉で書いた思いを、対話を重ねて共有したりしました。

③各グループの討議内容をグループごとに発表しました。委員の皆さんのお見本を一部紹介します。

○自立、自律した子になってほしい。

自己決定できる、自分のことは自分でする、失敗を恐れない、

チャレンジできる、創造できる、想像できる、考えることを楽しむ など

○相手への思いやりのある子になってほしい。

友達を大切にする、相手を尊重する、他人の気持ちが分かる、

周りのことを考えられる、困っている子を助ける、ルールを守る など

○コミュニケーションを大事にする子になってほしい。

元気で明るいあいさつができる、自分の思いを伝えられる、

自分の意見が言える、相手の目を見て話が聞ける、異なる意見を受け入れられる など



6 次年度の学校運営協議会について

校長より北区の学校運営協議会の要綱改正に伴い、本校の学校運営協議会の要綱改正の提案を行いました。また、次年度は「熟議」を軸とした学校運営協議会を行っていくため、開催回数を年7回にする説明を行いました。

7 まとめ 教育委員会、副委員長から

次回は、令和8年2月10日(火)午後5時から午後6時30分の予定で開催します。現在行っている学校評価の自己評価の報告を受けて、委員の皆様には学校関係者評価を行っていただきます。次年度の教育課程の方向付けとなる協議会になる予定です。本協議会は公開ですので、ご興味がありましたら、ぜひ見学にいらしてください。会場の都合上、見学・傍聴を希望される方は、令和8年2月6日(金)までに本校副校長あてへ(電話 3907-2475)ご連絡ください。

本校の学校改築事業について、問い合わせの多いご質問と回答は、北区のホームページに掲載されています。随時更新されるのでご覧ください。

(ホームページリンク先)

<https://www.city.kita.lg.jp/children-edu/schools/1004010/1004011/1004021/1004022.html>

校内研究 News

自ら学び、互いに高め合う児童の育成 ～交流のよさを実感し、自ら対話的に解決に向かう姿を目指して～

導入では、子どもたちが作りたくなるカードを提示し、やなせたかしの伝記を読むことと並行して、自分たちが紹介する伝記を子どもたちは読み進めています。

授業では、やなせたかしがアンパンマンにどのような願いを込めたのか、一番心に響いた出来事や考え方を中心に、自分の考えを付箋に個人で書き出します。次に班ごとに付箋を整理していきます。一つの意見に

マンの勇気ー』の单元です。本時は、やなせたかしの伝記を読み、人物像の捉え方にについて対話を通して深める授業でした。教科書にある、やなせたかしの伝記は入口です。伝記に描かれている人物の生き方を捉え、自分と重ねて考えたことをカードで伝え合うことを本单元のゴールにしています。单元の

十二月十日（水）に第二回目の研究授業を行いました。

授業者は　　主任教諭、五年一組　国語科「伝記を読み、自分の生き方について考えよう」『やなせたかし—アン・パン

学びになる。今後は「聞く」ことの
指導を大切にしてほしい。友達が聞
いてくれたことが自信となり全体
の話合いが上手になる、と、指導い
ただきました。

三本の研究授業が終わりました。
これから今年度の研究のまとめを
行います。

その根拠の記述を問う司会の児童がいたりするなど、全てではありませんが、班での対話による活動が人物像を深める手立てとなる場面として、それぞれに見られました。

講師の先生からは、班ごとの話合いで人物像に迫るキーワードが抽出されていました。全体の共有の仕方で考えが深めることができる。そこで班ごとの発表を工夫し、全体共有の時間を確保する。意見を整理し、深堀りし、本質に迫ることが対話的な

A classroom scene showing students working in groups at their desks. A teacher is standing near the front, supervising. The students appear to be engaged in a collaborative activity, possibly related to the text above.



2年生から6年生は、学級会で「お店」を決める話し合いを行い、学級ごとにアトラクションとなる「お店」を出しました。友達と協力し合って「お店」を作つてお店当番を分担したり、自分たちも他の学級が作ったお店で遊んだりしました。今回1年生はお客様に徹し、全学年で交流しました。明るい笑顔がたくさん見られた一日になりました。

2年



- 【2-1】くじびき&びんご
【2-2】紙ひこうきチャレンジ

中学年



- 【3-1】オニからにげろ！
 - 【3-2】ワニワニパニック
 - 【4-1】ザ・スペイミッショソ
 - 【4-2】NGワードゲーム 等

高学年



- 【5-1】 ターゲットを探せ
 - 【5-2】 魚つり
 - 【6-1】 サスケ&トロッコクエッション
 - 【6-2】 スタンプラー

転出入についてのご協力のお願い

来年度の学級編成に関して、児童数の確認をしています。
転出予定のある方は、学校までご一報ください。また、転入の情報もありましたら、ご連絡いただきます
よう、お願ひ申し上げます。

道徳授業地区公開講座を開催しました。

12月20日（土）に今年度の道徳授業地区公開講座を開催しました。道徳授業地区公開講座は、学校、家庭及び地域社会が一体となって子供たちの豊かな心を育むとともに、小・中学校等における道徳教育の充実を図ることを目的として行っています。

本講座では、道徳科の授業を活性化し、道徳科で授業をする質の向上を図ります。また、コミュニティスクールとして、道徳科の授業を公開することで開かれた学校づくりを推進します。そして、意見交換を通して、学校・家庭・地域社会が一体となった道徳教育を推進することを大切にしています。

道徳科の授業では、教科書の教材を通して、教材の登場人物に自分の気持ちや考えを投影したり、ある出来事に対して2つの相反する考えの中でどちらが自分としてよいものなのか葛藤したりしながら、道徳的価値を子どもたち自身が判断し、獲得していきます。算数のように1つの答えにたどり着くものではありません。子どもたちが教材を通してどのように感じ、学んでいくのか、授業の中で子どもたち自身の考え方や意思を表すことは行いますが、それが答えではありません。道徳科の授業を通して学んだことを踏まえて、日常の中で行動として実践できるかまでもが大切です。

授業後の意見交換会では、人との関わり方をテーマに、友達や他の仲間、集団としての関わり方など、学校の外での関わりの様子や家庭での生活の様子等、授業の様子を含めて、意見交流が行われました。

低学年

中学年

高学年



1年生は「親切」について、2年生は「ことば」のもつ力について考えました。

3年生は「きまり」を守ることの意義について、4年生は「規則」の大切さについて考えました。

5年生は「権利と義務」について、6年生は「それぞれがもつ権利」について考えました。



意見交換会の様子

道徳授業地区公開講座のアンケートから（一部を抜粋）

- ・子どもたちに、「うれしい」以外の語彙力を使って言語化させていく様子や、「ヤバい」を詳しく説明させる様子は大人も勉強になりました。道徳の内容を家庭で取り組むことは必要だなと思い、家庭でも情報収集をはじめました。
- ・きまりを守るという道徳の授業でしたが、なぜルールが必要なのかを考えるきっかけになると思い、大変ありがとうございます。
- ・親の世代になっても、現実社会の中でも、全く同じような場面に多々遭遇するので、子どもたちと同じ目線で考えることができました。
- ・子どもたちが、協力しつつ一人一人が一生懸命に考え、話し合いながらひねり出すアイデアは、まさに現実社会でまっとうに生きる術そのものでした。
- ・子どもたちは私が想像する以上に言葉に届しやすいのかもしれない、時に自分に否定的になってしまうのかもしれないと気付かされました。親としても充分配慮してあげたいなと思いました。
- ・正解のない道徳の授業ですが、思いやりやコミュニケーション力を高めるには大切な授業だと感じました。
- ・6年生になると自分の意見をしっかり伝え、道徳の授業が有意義な学びになっていると感じました。